

# スズキ ダイハツ ホンダ 三菱自動車 富士重工

快走を続ける軽自動車!! 生産・販売メーカーの戦略から研究開発までを  
協力部品メーカー 540 社の現況とともに一挙掲載!

## 軽自動車産業の実態 2005年版

好評受付中!

2005年2月8日発刊

体 裁：A4判 / 666頁  
定 価：78,750円  
(価格は税込、送料込み)

株式会社 アイールシー

本 社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225  
I R C 東京：〒101-0023 東京都千代田区神田松永町7 TEL 03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

<http://www.eIRC.co.jp> でも調査資料の詳細がご覧いただけます。

### 発刊にあたり

軽自動車は、1949年7月に初めて法律上に規格ができ、55年に排気量360ccの軽四輪車規格が固まった。その後、排出ガス規制への対応や安全性向上のため、76年には550ccへ、90年には660ccへ規格改定、さらに98年10月には衝突安全基準への対応のためサイズを大きくした規格に改定されてきている。

軽自動車は、主に昭和30年～40年代は商工自営業者の産業振興のためやマイカー時代の入門車として普及した。その後、軽免許の廃止、車検制度の導入、排出ガス規制の開始、国民所得の向上による上級車への移行などによって冬の時代を迎えたが、昭和50年代半ば以降は主に女性の社会進出と相まってセカンドカーとして急速に普及してきた。現在では、省資源・省エネルギーで運転のしやすいクルマとして、より広範なユーザーの支持を得ており、地方においては女性、高齢者の貴重な生活の足であるとともに、中小企業や商店、農家などの事業活動にも大いに活用されている。

近年、国内自動車市場が今ひとつ勢いに乗れない中、軽自動車の好調は際だっており、2004年前半の届出台数は上半期としては過去最高の100万台を突破、2005年も引き続き高水準を維持すると予想される。

本書は、快走を続ける軽自動車を生産するスズキ、ダイハツ、ホンダ、三菱自動車、富士重工5社と、これらのメーカーを支えるグループ企業、協会加盟企業、及び2～3次協力メーカー540社における生産、販売、購買などの企業動向を独自取材により明らかにした調査資料です。貴社にて是非ご利用下さい。

第 - 1 表 軽自動車メーカーの車名別部品調達状況 (2)

サプライヤー	軽メーカー	調達部品
菱機工業(株)	ダイハツ	(直納)全車種にラジエーターホース、(2～6)デフロ、バックパ、(9)アサイドメンバ-サブ Assy (間接)浅野歯車工作所
(株)青山製作所	スズキ	(直納)全車種にボルト
	ダイハツ	(直納)全車種にボルト (間接)荻野製作所、明取引)
(株)赤池工業	ホンダ	(直納)全車種にボルト
	富士重工	(直納)全車種にオイル
(株)明石機械製作所	ダイハツ	(直納)オイルホ-ソフ、フロント、シャフト、MT Assy

  

株式会社 (株) アイールシー (CO.,LTD.)	
本社	名古屋市 1-1-1 電話 0565-XXXX
資本金	9,800万円
取引銀行	UFJ銀行(豊田南)、岡崎信用金庫(高岡)、東京三菱銀行(名古屋)、三井住友銀行(名古屋中央)
主要製品	トランスミッションギア(ヘリカル付モノブロック、モノブロックスピード、リバースアイドル、クラッチ)、AT・エンジン用ギア
構成比	四輪車関連93%、二輪車関連2%、その他5%(内軽自動車関連2.6%)
業績	2002年3月期 = 6,400百万円(経 250百万円) 経率(3.9%) 2003年3月期 = 7,000百万円(経 300百万円) 経率(4.3%)
主要取引先	(納入先)スズキ1.3%、ダイハツ1.3%、トヨタ自動車、日産自動車、富士重工、ホンダ(間接)、ヤマハ(間接)、カワサキ(間接)、いすゞ自動車、アイシン関連、ソニック石川、VW、ダイムラークライスラー(仕入先)山陽特殊鋼、新神戸電機、ウメトク、新三星商工、大同マテックス、鶴飼商会三河鉄工所、サンビック、トヨタ、愛知製鋼
スズキへの納入部品	(直納)リバースアイドラギア、スプロケット、MT用ギア、メインシャフト
ダイハツへの納入部品	(直納)(2,4,7,9,10)にトランスミッションギア、(2,4)にパーキングギア

ブレーキ	0.8%
	4.2%
	-
明石機械製作所経由で	40.0%
ギアなど	64.0%
	1.0%
	15.0%
富士重工との直取引)	15.0%

《内容見本》

「軽自動車産業の実態 2005年版」より

[ 目 次 ]

第 部	軽自動車の現況	- 2	ダイハツの購買体制
第 章	軽自動車市場	- 3	ホンダの購買体制
- 1	軽自動車の概要	- 4	三菱自動車の購買体制
- 2	軽自動車の沿革	- 5	富士重工の購買体制
第 章	軽自動車メーカー		
- 1	スズキの概要	第 章	部品調達
- 2	ダイハツの概要	- 1	車名別部品調達状況
- 3	ホンダの概要	- 2	主要部品別調達状況
- 4	三菱自動車の概要	第 部	グループ企業と資本・人事交流
- 5	富士重工の概要	第 章	スズキ
第 部	軽自動車メーカーの生産・販売・研究開発戦略	- 1	組織
第 章	スズキ	- 2	役員の担当分野と経理
- 1	車種構成と車両概要	- 3	職制と人事
- 2	技術概要と新技術	- 4	グループの形成
- 3	生産体制と生産状況	- 5	グループ各社の資本・人事交流
- 4	販売体制と販売状況	- 6	スズキグループ
- 5	事業戦略	第 章	ダイハツ
第 章	ダイハツ	- 1	組織
- 1	車種構成と車両概要	- 2	役員の担当分野と経理
- 2	技術概要と新技術	- 3	職制と人事
- 3	生産体制と生産状況	- 4	グループの形成
- 4	販売体制と販売状況	- 5	グループ各社の資本・人事交流
- 5	事業戦略	- 6	スズキグループ
	(以下、各項同じ)		(以下、各項同じ)
第 章	ホンダ	第 章	ホンダ
第 章	三菱自動車	第 章	三菱自動車
第 章	富士重工	第 章	富士重工
第 部	軽自動車メーカーの部品調達状況	第 部	軽自動車を支える協力企業の実態
第 章	購買体制		
- 1	スズキの購買体制		

第 部では、軽自動車の現況を各種統計資料を用いて報するとともに、軽自動車を生産するスズキ、ダイハツ、ホンダ、三菱自動車、富士重工の概要を掲載します。

第 部では、スズキ、ダイハツ、ホンダ、三菱自動車、富士重工の軽自動車の商品構成、エンジン、パワートレイン、サスペンション、ブレーキなど各部位の概要や安全、環境対応など既存技術と新技術を解説しています。また、軽自動車メーカー5社の国内生産・販売体制を明らかにするとともに、各々の状況を車名別など各種統計を用いて解説、さらに、今後の生産・販売計画、設備投資状況など事業計画についても解説しています。

第 部では、軽自動車メーカー5社の購買部門の組織と戦略を掲載するとともに、購買体制と軽自動車部品の調達状況について詳報します。

第 部、第 部では、軽自動車メーカー5社の運営体制及び全職制、グループ企業との資本・人事交流を明らかにするとともに、グループ各社、協豊会加盟企業など540社余りの概要、取引状況、生産体制、事業計画を調査・報告しています。

キ リ ト リ

申 込 方 法



フリーダイヤル FAX 0120-020-472 電話 052-451-8221(代) 03-3255-3461(代)

フリーダイヤルFaxをご使用になれない場合は、Fax 052-451-8246 をダイヤルしてください。また、電話による受け付けも行ってあります。

株式会社 アイアールシー 営業部

本 社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225  
I R C 東京：〒101-0023 東京都千代田区神田松永町7 TEL 03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

e I R C 行 オーダーフォーム

弊社では見計りによる販売も行っております。通信欄に必要事項をご記入ください。

軽自動車産業の実態 2005年版

発 刊：2005年2月8日

体 裁：A4判/6.66頁

定 価：78,750円

部

当社の定価および予約価格（発刊までの代金前納に限る）は、消費税込、送料込み価格です。但し、海外への発送費はお客様負担となります。封筒に貼付してあります顧客ラベルで、住所・担当者変更等がございましたら、このオーダーフォームに新旧をご記入の上、ご連絡ください。

会 社 名：

住 所：〒

電 話：

F a x：

購 入 部 課：

担 当 者（氏名）：

印 フルネームで  
ご記入ください。役 職：

通 信（見計り希望など）：

自動車産業レポート

チェック

1ヶ月間の無料見本誌送付を希望 [ ]